

新緑の美しい季節となりましたが、諸君の大学に対する期待と焦燥に明け暮れている不安な生活を考えると教員として全く申しわけない気持ちです。とくにご父兄のご心配に対してはいくらお詫び申し上げてもその言葉がありません。

学部はすでに諸君のもとに学部提案をはじめとする諸種の印刷物を送りましたのでいままでの経過や学部の方針についてはご存じのことと思います。

わたくしたち教員は事態の收拾に努力をはらって参りましたが、その結果授業再開しつつ学園の民主化を促進することになりました。

わたくしたちは日本大学農獣医学部の教員として今後の大学と学部をいかなる姿に改善し、建設してゆくべきかと考えるとき、一層その責任の重大さを痛感しないわけにはゆきません。畜産学科教員はその第一歩として、学部提案を前提とし、まず授業再開しつつ学生諸君との接触を緊密にし、学生諸君の考え方を卒直に受けとめ、それを基盤として大学の民主化促進に努力することであると考えます。

以上の考え方から畜産学科としては四月二十一日、二十二日の両日、まず授業再開に対する考え方と方針について説明会を開き、三年次学生諸君の理解を求めました。また単に授業を行うのみでなく、さらにゼミナール形式によって教員との交流を一層深めるために四グループに大別し、そのうえ教員別に小グループを希望によって編成し、ゼミナールに重点をおいた教育を行なうことを提案しました。幸い、多くの学生諸君(89名)はわたくしたちの本意を理解してくれて四月二十六日より授業が再開されました。

一・二年次学生諸君に対しても教育課程改正によって修得せねばならない専門教育教科と実験実習が数多くあり、その上一般教育科目の修得という条件が加味されるため、現状のまま放置しておくことははや許せなくなりました。

そのためにも授業を再開して、学園の民主化を促進してゆかねばならないし、大学における本来の教育の目的を果すためにわたくしたち教員も誠心誠意努力することはすでに表明したとおりであります。

わたくしたちの意図するところを諸君が理解され、秩序ある平穏な学園生活が行なわれることを切望してやみません。三年次諸君を対象とした授業再開、新入生の受け入れ準備などにより、諸君に対する呼びかけがおくれたことを深くおわびします。以上の趣旨を了承され、集会に全員参集されることをお願いするものです。

学科主催によるこの集会は、授業再開に関する意見調整を目的としています。

授業再開に関する方針とわたくしたち教員の態度は前に述べたとおりであり、諸君の了承

と賛同を得れば直ちに授業を再開する予定であります。また諸君の持参している学生証は昭和四十四年度在籍になっていないから、これを書きかえなければなりません。これを早急に行ないたいので集会当日には必ず学生証を持参して下さい。

集会の行なわれる日時・場所は別紙のとおりであります。

なお、今年度の畜産学科主任と一、二年次の学年担任は次のとおりであります。

主任	福島 正次 教授
一年次学年担任	長野 実 講師
	徳 沢 竜 潭 講師
	佐 藤 嘉 兵 助 手
二年次学年担任	海 老 成 直 助 教授
	小 牧 弘 助 手
	宮 原 晃 義 副 手

集会には連絡不充分のため、この通知が届かない人もあると思われるので学友とよく連絡をとって参集して下さい。

諸君の元気な姿にまみえることを希望しております。

昭和四十四年五月七日

畜 産



なお、諸君との連絡を緊密にするため、次の事項に記入して当日提出して下さい。

キ リ ト リ

① 学生証 係

学生氏名

住 所

郵便 係

電話 係

② 父兄氏名

住 所

郵便 係

電話 係

集会は次のとおり行ないます

一、日時

二年次 昭和四十四年五月十九日(月)

一年次 昭和四十四年五月二十一日(水)

いずれも午前十時より午後四時まで。

二、場所

目黒区福祉センター

目黒区碑文谷五丁目十五の六

TEL (714) 〇五一一(代表)

※ 交通

1. 東横線 「都立大学」下車歩いて八分
2. バス 「碑文谷警察署前」下車一分

(イ) 渋谷駅から接新町行(目黒経由)または砧緑地行

(ロ) 目黒駅から等々力行または二子玉川園行

